

関西洋楽の故郷 芦屋で弾く

左手のピアニスト 智内威雄 コンサート

～大阪フィルの精銳メンバーを迎えて～

9/21 Sun

開場 14:30 開演 15:00

前売 1,500 円

当日 2,000 円

(全席指定)

7/16 (水) より発売開始



田野倉 雅秋

大阪フィル首席コンサートマスター

渡辺 美穂

大阪フィルコンサートマスター

近藤 浩志

大阪フィル首席チェロ奏者

第1部

①ピアノソロ 智内威雄

ボルトキエヴィッヂ作曲：ウェディングソング

②対談 関西洋楽の故郷・芦屋と第一次世界大戦
智内威雄、河内厚郎、定藤博子

③ピアノソロ 智内威雄

ボルトキエヴィッヂ：詩人

スクリャービン：前奏曲と夜想曲

Program

第2部

④室内楽

コルンゴールド「組曲」

- ・1楽章／プレリュードとフーガ
- ・2楽章／ワルツ
- ・3楽章／グロテスク
- ・4楽章／リート
- ・5楽章／ロンドフィナーレ変奏曲

ピアノ：智内威雄、ファーストバイオリン：田野倉雅秋
セカンドバイオリン：渡辺美穂、チェロ：近藤浩志

司会：定藤博子

※演奏者の都合により一部演目が変更になる可能性があります。

第一次世界大戦から100年 関西洋楽の故郷 芦屋



深江文化村（写真提供：富永喜代子様）

今年はサラエボ事件を契機に勃発した第一次世界大戦100年記念の年になります。

この大戦で応召されたオーストリア人音楽家、ヨーゼフ・ラスカラは、芦屋に隣接する深江文化村に集い、今年100年を迎える宝塚歌劇団の音楽学校教授や宝塚交響楽団指揮者を務め、後に神戸女学院で教鞭をとりました。

芦屋ゆかりの音楽家、貴志康一も彼の薰陶を受け、関西の洋楽界に大きな足跡を残しました。

第一次世界大戦では戦場に赴き戦傷で右腕を切断しなければならなかつた音楽家もいました。

オーストリア生まれのパウル・ヴィトゲンシュタイン（Paul Wittgenstein）も、戦場で右腕を失った後も演奏活動を続け、多くの著名な作曲家に左手だけで演奏可能な作品を委嘱したことでも有名です。



パウル・ヴィトゲンシュタイン

第一次世界大戦勃発と宝塚歌劇団100年記念の今年、関西洋楽の故郷・芦屋ルナ・ホールで局所性ジストニアがきっかけで、左手のピアニストとして再帰したピアニスト智内威雄と大阪フィル精銳メンバーを迎えてコンサートを開催することになりました。

智内威雄

東京音楽大学卒業。ハノーバー音楽大学（ドイツ）留学中、数々の国際コンクールで賞に輝くも、右手にジストニアを発症し、リハビリに専念。その後、左手のみで行った室内楽の卒業試験にて満場一致での最優秀成績を収める。左手音楽の歴史的楽曲の発掘と、片手にハンディキャップをもつ演奏家に、音楽を続ける道を示す任意団体「左手のアーカイブ」プロジェクトを設立。「左手のピアニスト」として驚異的なテクニックと深遠かつ豊かな音楽性で新境地を切り拓く。

田野倉雅秋 大阪フィル首席コンサートマスター

東京芸大附属高校を経てジュリアード音楽院より学士号取得。ニールセン国際ヴァイオリンコンクール優勝。広島交響楽団コンサートマスターを経て現在名古屋フィルコンサートマスター、大阪フィル首席コンサートマスターを兼務。

渡辺美穂 大阪フィルコンサートマスター

1983年名古屋市生まれ。東京芸術大学大学院修了。在学中より東京フィルハーモニー交響楽団の2ndヴァイオリンのフォアシユピーラーを務め、2012年より大阪フィルハーモニー交響楽団コンサートマスター。

近藤浩志 大阪フィル首席チェロ奏者

東京藝術大学を経て、エコール・ノルマル及びプローニュ音楽院を首席卒業。ニューヨークのカーネギーホールや国連会議場等でのソリストとして活動。英国ロンドンウェストミンスター紙上やニューヨーク等で絶賛され、世界的指揮者ジャン・フルネ氏より「現代第一級のソリスト」の推薦状を受ける。大阪音楽大学、神戸女学院大学、大阪芸術大学などで講師を務める。